

2021年2月10日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-5804-4221

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	87,024	0.2	7,778	11.9	8,175	14.2	5,400	15.3
2020年3月期第3四半期	86,885	3.0	6,951	6.4	7,160	3.9	4,685	6.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,408百万円 (3.5%) 2020年3月期第3四半期 5,227百万円 (31.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	283.77	280.22
2020年3月期第3四半期	246.20	243.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	117,386	75,536	59.9	3,696.22
2020年3月期	108,348	71,533	61.4	3,494.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 70,346百万円 2020年3月期 66,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		35.00		35.00	70.00
2021年3月期		35.00			
2021年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,600	2.0	9,400	6.1	9,700	7.0	6,100	14.5	320.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	19,267,760 株	2020年3月期	19,267,760 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	235,631 株	2020年3月期	235,542 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	19,032,194 株	2020年3月期3Q	19,032,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大により経済活動が抑制される中、各国政府により社会経済活動の再開が進められるとともにワクチン実用化への期待感が高まり、一時的に持ち直しが見られました。しかしながら、直近では日本国内でも感染者数が増大し各都府県で緊急事態宣言が再発出され、またワクチン接種が完全に普及するにはまだまだ時間がかかるなど、内外の経済環境は今後も厳しい状況が続くと見込まれます。

このような環境の下、ライフサイエンス事業、建築資材事業では減収となりましたが、情報電子事業ではプロテクトフィルム、情報記録用材が共に堅調に推移したことで売上が前年を上回り、当社グループの売上は前年同期比で増収を確保いたしました。

損益面では、当社昭和事業所での新設機械稼働による減価償却費の増加、戦略費の投入、生産量増加に伴う人件費を中心とした固定費の増加等があったものの、増収効果の寄与、高付加価値製品の販売強化、加えてグループ全体にわたる生産効率の向上、海外子会社の収支改善に努めたことなどにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高870億24百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益77億78百万円(前年同期比11.9%増)、経常利益81億75百万円(前年同期比14.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益54億円(前年同期比15.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材では、外食産業向けの包装材を中心に受注が減少となりましたが、充填搬送システムの販売があったことで売上は前年を上回りました。日用品向包装材では、大容量の複数回詰替袋の売上を着実に伸ばし増収となりました。医薬・医療用包装材では、COVID-19による通院控えの影響を受けて医薬用剥離フィルムを中心に受注が減ったものの、バイオ医薬品製造用シングルユースバッグ及び関連製品で売上が増大し、前期比微増の展開となりました。その一方、液体容器では前年第2四半期にスポット的な機械商品販売があったことに加え、米国子会社でCOVID-19の影響を受け業務用食品用途等の需要が冷え込んだことにより売上は前年を大きく下回り、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は422億90百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムでは、巣ごもり需要の増加に伴い、日本、欧米各国においてテレビ販売が堅調に推移したことなどから受注が増加し、秋口より本格稼働した当社昭和事業所の新設機械による生産増も大きく寄与したことから、売上は前年を上回りました。情報記録用材では、足許やや需要が落ち着きを見せているものの、タブレット・スマートフォン向けは期を通じて底堅く推移したことに加え、テレワークの拡大、そのインフラ整備の進捗を背景に、パソコン・サーバー向けの販売が大きく伸長し、事業全体で増収となりました。

この結果、売上高は303億94百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、集合住宅向けボイドスラブ(床構造部材)の売上は堅調に推移しましたが、煙突工事並びに空調用配管の売上は減少しました。土木関連については、トンネル用資材の売上が増加いたしました。

この結果、売上高は143億39百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	86,885	100.0	87,024	100.0	138	0.2
ライフサイエンス	42,917	49.4	42,290	48.6	△626	△1.5
情報電子	29,171	33.6	30,394	34.9	1,223	4.2
建築資材	14,797	17.0	14,339	16.5	△458	△3.1
営業利益	6,951	8.0	7,778	8.9	826	11.9
ライフサイエンス	2,397	5.6	3,003	7.1	606	25.3
情報電子	3,134	10.7	3,174	10.4	40	1.3
建築資材	1,419	9.6	1,599	11.2	180	12.7

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、短期の有価証券が減少しましたが、現金及び預金や売上債権、有形固定資産が増加したことにより、前年度末に対して90億38百万円増加の1,173億86百万円となりました。

負債は、仕入債務や未払金、借入金が増加したことなどにより、前年度末に対して50億36百万円増加の418億50百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前年度末に対して40億2百万円増加の755億36百万円となり、自己資本比率は59.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の連結業績は、COVID-19の感染拡大の影響により、外食産業やインバウンド需要低迷、通院控えなど売上確保が難しい展開となる一方で、テレワークの拡大影響や巣ごもり需要によりテレビ市場が堅調に推移した影響などから、想定以上に販売が伸びました。また固定費は、経費削減効果等もあり、年初に想定した費用を下回りました。

当第3四半期累計期間の状況を踏まえて、業績予想を見直しいたしました。

なお、2020年5月13日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 116,600	百万円 8,200	百万円 8,300	百万円 5,400	円 銭 283.73
今回修正予想 (B)	116,600	9,400	9,700	6,100	320.51
増減額 (B-A)	—	1,200	1,400	700	—
増減率 (%)	—	14.6%	16.9%	13.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	114,304	8,856	9,062	5,328	279.97

注) 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,198	9,883
受取手形及び売掛金	31,007	34,613
有価証券	17,097	13,995
商品及び製品	4,950	4,872
仕掛品	1,525	1,681
原材料及び貯蔵品	3,450	3,687
その他	1,811	2,302
貸倒引当金	△26	△28
流動資産合計	66,014	71,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,506	42,318
減価償却累計額	△23,900	△24,744
建物及び構築物(純額)	14,606	17,574
機械装置及び運搬具	54,573	58,112
減価償却累計額	△47,983	△49,168
機械装置及び運搬具(純額)	6,590	8,943
工具、器具及び備品	7,162	7,848
減価償却累計額	△6,208	△6,660
工具、器具及び備品(純額)	954	1,188
土地	8,188	8,077
建設仮勘定	3,902	2,232
その他	859	884
減価償却累計額	△253	△293
その他(純額)	606	591
有形固定資産合計	34,848	38,607
無形固定資産		
のれん	363	288
その他	891	743
無形固定資産合計	1,254	1,032
投資その他の資産		
投資有価証券	4,673	5,339
繰延税金資産	685	632
その他	887	792
貸倒引当金	△15	△26
投資その他の資産合計	6,231	6,738
固定資産合計	42,333	46,378
資産合計	108,348	117,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,921	23,703
短期借入金	2,065	1,589
未払金	4,374	5,319
未払法人税等	1,155	992
賞与引当金	1,288	722
役員賞与引当金	157	105
その他	1,575	1,736
流動負債合計	30,537	34,168
固定負債		
長期借入金	50	1,100
繰延税金負債	212	513
退職給付に係る負債	4,501	4,589
役員退職慰労引当金	560	572
その他	951	906
固定負債合計	6,276	7,681
負債合計	36,814	41,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,454	6,454
利益剰余金	51,419	55,487
自己株式	△502	△502
株主資本合計	63,971	68,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,552	2,023
為替換算調整勘定	966	263
退職給付に係る調整累計額	13	20
その他の包括利益累計額合計	2,533	2,307
新株予約権	469	510
非支配株主持分	4,559	4,678
純資産合計	71,533	75,536
負債純資産合計	108,348	117,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	86,885	87,024
売上原価	67,978	67,283
売上総利益	18,906	19,741
販売費及び一般管理費	11,955	11,963
営業利益	6,951	7,778
営業外収益		
受取利息	52	73
受取配当金	82	83
受取保険金及び配当金	57	48
補助金収入	47	0
リサイクル収入	54	44
その他	147	227
営業外収益合計	443	477
営業外費用		
支払利息	44	17
売上割引	28	26
為替差損	145	22
その他	15	13
営業外費用合計	234	79
経常利益	7,160	8,175
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	9	1
特別利益合計	11	5
特別損失		
固定資産売却損	10	0
固定資産除却損	24	6
投資有価証券評価損	-	89
減損損失	68	-
特別損失合計	103	95
税金等調整前四半期純利益	7,067	8,085
法人税、住民税及び事業税	1,704	2,082
法人税等調整額	265	137
法人税等合計	1,969	2,220
四半期純利益	5,097	5,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	412	464
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,685	5,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,097	5,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	474
為替換算調整勘定	0	△939
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	129	△457
四半期包括利益	5,227	5,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,814	5,174
非支配株主に係る四半期包括利益	412	233

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,917	29,171	14,797	86,885	-	86,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	160	676	5	842	△842	-
計	43,077	29,847	14,803	87,728	△842	86,885
セグメント利益	2,397	3,134	1,419	6,951	-	6,951

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,290	30,394	14,339	87,024	-	87,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	151	584	1	737	△737	-
計	42,442	30,979	14,340	87,762	△737	87,024
セグメント利益	3,003	3,174	1,599	7,778	-	7,778

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。